

ISSN 2434-9690

東アジア国際 言語研究

創刊号

東アジア国際言語学会
2020年1月

目次

ごあいさつ	鈴木康之 (i)
[特別寄稿]	
文の材料としての単語と連語	鈴木康之 (1)
名詞と使役動詞 (V-(サ)セル) からなる連語	早津恵美子 (5)
[対照研究]	
構造で作る派生空間詞	高橋弥守彦 (25)
日本語の「を格」、「から格」の空間名詞と自動詞との組合せに対応する台閩語の 連語との比較	施 淑恵 (36)
「ノニ」文と中国語“关联词”訳の対照研究	孫 宇雷 (51)
「習得」に関する動詞の語彙的意味の分析——日中の結果複合動詞を中心に——	蘇 丹 (61)
「のだ」文と焦点・強調的“是”字文との対照研究 — 対訳における 意味伝達と形式選択から—	曹 銀閣 (72)
「飛び+V」と“跳/飞+V”についての一考察	陳 雄洪 (82)
拡張意味単位からみた日中同形語の対照研究—「精神」を例として—	梁 鵬飛 (92)
[日本語研究]	
不可能形式による禁止表現	李 楠 (103)
コーパスに基づく類義語の意味分析の研究—「はがれる、むける」などを中心に—	李 響 (111)
日本語の存在文と所在文の置き換えに関する一考察	鄧 超群 (121)
新聞社説における譲歩表現に関する分析—その談話機能を中心に—	単 艾婷 (131)
日本語の「内の関係」連体修飾節のモダリティについての考察	張 静苑 (142)
類型論的にみる日本語の目的語名詞の定性	魯 美玲 (153)
『萬葉集』にみられるオノマトペ—AB型を中心に(その式)—	王 則堯 (164)
[中国語研究]	
中国語の仮定複文における前後節の関係標識について	新田小雨子 (174)
時量詞構文における焦点について	福本陽介 (184)
歴史的に見た離合詞—“请客”“生气”“见面”—	石井宏明 (195)
小説の地の文における“SV了O”文の成立条件	白石裕一 (205)
現代中国語の数量詞について	洪 安瀾 (218)
“把”構文における可能表現についての再考	小路口ゆみ (229)
位置移動の動詞“过”のスキーマについて	蘇 秋韵 (239)
二空間の質的対立から見た“过”の通過義について—「境界プロフィール」と 「場所プロフィール」に着目して—	佐々木俊雄 (250)
清末北京語動詞の実態—張廷彦『支那語動字用法』と『動字分類大全』に基づいて—	許 辰晨 (261)
2019年月例会発表記録	(272)
編集後記	(274)
執筆者一覧	(275)
英文目録	(276)

“把”構文における可能表現について

Concerning about the Possible Expression in the *Ba*-construction

小路口 ゆみ
KOJIGUCHI Yumi

提要 現代汉语中可能表达有两种方式:①用助动词来表达;②用可能补语来表达。本文只对助动词“能”与可能补语进行比较,如下列的例(1)和例(2)的两种表达方式虽然表达的意思有所不同,但在一定的语境中是可以使用的。

(1)他能吃完。 (2)他吃得完。

可是“把字句”的可能表达却只有一种:用助动词表达(下面的例(3))。无论在哪一种语境,都不能使用例(4)的句子。

(3)他能把书拿来。 (4)*他把书拿得来。

本文通过对“把字句”的实例进行考察分析,来阐明“把字句”里不能使用可能补语的理由。

キーワード: “把”構文 出来事 可能表現 助動詞 可能補語

目次

1. はじめに
2. 可能表現についての先行研究
3. 「助動詞“能”による可能」と「補語による可能」の異同について
4. “把”構文の可能表現
5. おわりに

1. はじめに

現代中国語の可能表現では、「助動詞による可能」と「補語による可能¹⁾」に大きく二分され、助動詞による可能は数多く存在し、例えば“能、能够、会、可以、可能”等がある。本稿では、可能を表す助動詞の代表とされている“能”のみについて考察する。ちなみに、“把”構文における可能表現は、「助動詞による可能」でしか表せない。

(5) 四元儿却吓得脸发白,实指望五元儿能把血捂回去。 (《插队》)

四元児は驚いてまっ青になり、五元児がなんとか血を止められるようにひたすら願うばかりだ。(筆者訳)

¹⁾ 刘月华(1980:246~257)によれば、可能補語を以下の3類に分類している。A類:“得/不+结果补语/趋向补语”例:我到他门口看看,门关了,什么也看不见。B類:“得/不+了(liǎo)”例:这个西瓜太大,咱们俩吃不了。C類:“得/不得”例:这个人你可小看不得。

- (5)' * 四元儿却吓得脸发白, 实指望五元儿把血搥得回去。 (作例)
- (6) 保卫科长居然能^能把魏石头过去没心没肺骂出来的话, 举出一大堆, 说得魏石头脑门子冒凉气。 《丹》
保衛課長は、魏石頭が以前それほど深い考えもなく吐いた言葉を、つぎつぎと並べたてることができたので、彼をひやっとさせた。 (筆者訳)
- (6)' * 保卫科长居然把魏石头过去没心没肺骂出来的话, 举得出^能一大堆, 说得魏石头脑门子冒凉气。 (作例)

例 (5) は助動詞“能”による可能を表す“把”構文であり、この“把”構文は例 (5)' のような可能補語による可能を表すことができない。同様に、例 (6) も助動詞による可能表現で作ることができるが、可能補語による表現で作ることはできない。それは“能”による可能表現の特徴と“把”構文の条件が一致するからである。同時に補語による可能表現の特徴と“把”構文の条件が一致しないからである。この点について、連語論の観点から分析を試みる。

2. 可能表現についての先行研究

2.1 杉村博文 (1979 : 16-37)

杉村博文 (1979 : 16~37) は「V得/不C」が意味的にも機能的にも形容詞に接近しているので、“把”構文の述語として「V得/不C」が使えないことが原因であると主張している。

しかし、“看把你冷得!”の“冷”は形容詞であるが、この“把”構文は成り立つ場合もある。

2.2 小野秀樹 (1990 : 93-100、1991 : 11~19)

小野 (1990) によれば、VRの「他動性²⁾」が強いときに「能VR」が使われ、弱いときに一般に「V得R」が使われる。

- (7) 这种新发明的杀虫剂, ^能杀死 (*杀得死) 很多种害虫。 (小野 1990 : 95)
この新しく発明された殺虫剤は、たくさんの種類の害虫を殺すことができる。(同上)
- (8) 黎明之前, 满院子还是昏黑的, 只隐约的看得见各家门窗的影子。(小野 1990 : 96)
夜明け前、庭はまだ真っ暗で、ただぼんやりと家々のドアや窓の影が見える。(同上)
- 小野氏によれば、例 (7) の“杀死”は意図性や、対象が受ける影響 (とそれに伴う変化) から考えて、非常に他動性の高い文と見做すことができる。また、例 (8) の“看得见”は他動性のかなり低いVRであると主張している。

2.3 李锦姬 (1996 : 132-138)

²⁾ 小野秀樹 (1990 : 93~100) によれば、「VR」の「他動性」は以下の点により判断するものとしている。(イ) 動作行為が対象 (ウケテ) そのものに変化を与えるかどうか。(ロ) 対象が変化すると、それはどのような変化か。(ハ) その動作行為が、故意的なものか非故意的なものか。

李錦姫 (1996 : 132-138)³⁾によれば、一つの文の語用的基本構造は“主題—述題”であり、可能補語の可能式 (S + V得/不C) “主題” Sに対して、“述題”は必ず二つであるが、助動詞による可能式という構造は、“主題” Sに対して、“能/不能VC”の一つだけの“述題”を持つことができると主張している。

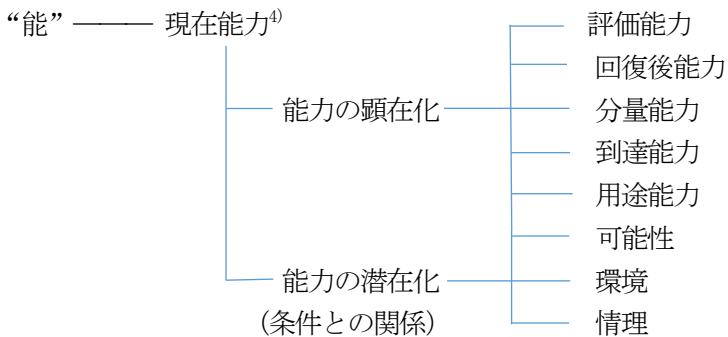
2.4 張威 (1998)

張威 (1998) は日中対照研究の立場から、日本語の有対自動詞表現を中国語の可能補語に相当すると位置付け、結果可能表現という分類を立てた。同氏は結果可能表現を以下のように定義づける。「結果可能表現とは、動作主がある出来事またはある種の状態変化を実現しようとして動作を行う場合、動作が行われた後、主体的または客体的条件によって、動作主の意図が思い通りに実現することができるかできないかを表す表現である。また、同氏 (1998 : 51) は、中国語の可能補語が表す意味：①「V得C」はVを実現しようとするれば、またはVが実現すれば、Cの実現も可能である。②「V不C」はたとえVが実現しようとしても、またはVが実現するにしても、Cの実現は不可能であるという意味を主張している。

2.5 高橋弥守彦 (2008 : 133—169)

高橋 (2008 : 133—169) によれば、出来事に対する主体の「現在の能力」を表すのが“能”のプロトタイプの意味であり、出来事と条件 (言語環境) との関係により、バリエーション的にいくつかの用法が派生する。その体系は以下のように図表化できる。

[表 1] 能力を表す助動詞“能”



³⁾ 李錦姫 (1996 : 132~138) によれば、“可能補語句のSは主題，“V得/不C”は述題，这述题可分成两个小述题，一个是“V”，一个是“得/不C”。(中略)在用能愿动词来构成的可能句式里，S是主题，“能/不能VC是述题，这述题不能分成两个小述题。”と主張している。

⁴⁾ 高橋弥守彦 (2008 : 138~150) によれば、現在能力：他汉语说得很好，他能翻译这本小说。彼は中国語がよくできるので、この小説を翻訳できる。評価能力：我们三个人里，数他最能写。私たち三人の中で、彼は一番筆が立つ。回復後能力：他病好了，能上课了。彼は病気が良くなったので、授業ができるようになった。分量能力：你能游八百米吗？八百メートル泳げますか？到達能力：这些汉字他都能写对了。これらの漢字を彼は全部正しく書けるようになった。用途能力：橘子皮还能做药。ミカンの皮から薬を作ることできる。可能性：这件事他能不知道吗？この件を彼が知らないことがあるうか。環境：那儿能游泳吗？あそこは泳げますか？情理：我们能看着他们有困难不帮助吗？彼らが困っているのを見て手助けせずについてよいだろうか。以上のような例文を挙げている。

2.6 安本真弓 (2009)

安本真弓 (2009) によれば、助動詞“能”と可能補語の構文意味は以下のように定義できる。

“能V”:話し手が一定の状況下で、ある動作の実現が可能であることに対する判断を行う。

“能VC/D”:話し手が一定の状況下で、ある動作の実現が可能であることに対する判断を行う (C/Dは結果を表す)。

“能V得C/D”:話し手が一定の状況下で、ある動作の実現が可能なら、一定の状況下で、ある結果の出現が可能であることに対する判断を行う。

“V得C/D”:話し手がある動作を実現後、一定の状況下で、ある結果の出現が可能であることに対する判断を行う。

上述の各文法学者は助動詞“能”と可能補語について、深く、詳しく研究しているが、“把”構文における可能表現になぜ“能”しか使えないかについては、刘月华(1980:253)は“V得/不C”不能用在“把”字句”と指摘している。しかし、その理由については言及していない。別の観点から、小野 (1990:99) は「すべて他動性によって、説明が可能だと思われる」と主張している。また李锦姬 (1996:132~138) は可能補語を“把”構文では用いることができない理由が“把”構文は処置義であるからであると主張している。本稿では、いままでの研究成果に基づき、“把”構文の可能表現について、連語論の観点から考察・分析を行う。

3. 「“能VR⁵⁾”による可能」と「“V得R”による可能」の異同について

3.1 「“能VR”による可能」についての可能表現

“能”は《现代汉语词典 (第7版)》(2016:946~947)によれば、“能力, 才干”を表すとあり、助動詞として、“表示具备某种能力或达到某种效率”を表すとある。また、《现代汉语八百词 (增订本)》(2010:414~416) (略称:《八百词》)では、助動詞“能”の用法を並列的に6類⁶⁾に分けている。高橋弥守彦 (2008:133~169) はこれらの用法に基づき、出来事に対する主体の「現在の能力」を表すのが“能”のプロトタイプの意味であり、出来事と条件 (言語環境) との関係により、バリエーション的にいくつかの用法が派生するとした。例えば、

⁵⁾ VRは「動詞+結果補語」と「動詞+趨向補語」であるという意味である。

⁶⁾ 《现代汉语八百词》(2010:414~416)によれば、能願動詞“能”は以下の6類用法がある。①表示有能力或有条件做某事。例:因为缺教员,暂时还不能开课。②表示善于做某事,前面可以加“很”。例:我们三个人里,数他最能写。③表示有某种用途。例:芹菜叶子也能吃。④表示有可能。满天星星,哪能下雨?⑤表示情理上的许可。不能只考虑个人,要多想集体。⑥表示环境上的许可。你能不能快点儿?

(9) 自然，他也晓得这样的机遇不完全出于偶然，而必须人与车都得漂亮精神，有货可卖才能遇到识货的人。 (《骆驼》：1)

むろん、そんなチャンスが偶然にやってくることはまずなく、人も車もしゃきつとして掛値なしの商品をそろえていてこそ、見る目のある客にも出あえるのであることを、彼ははっきり心得ていた。 (『駱駝』：10)

(10) 当他走到个小屋门或街门而必须大低头才能进去的时候，他虽不说什么，可是心中暗自喜欢，因为他已经是这么高大，而觉得还正在发长，他似乎既是个成人，又是个孩子，非常有趣。 (《骆驼》：2)

部屋の入口や門に身をかがめてはいらねばならぬ時など、口にはださないながら、うれしくてたまらなかった。おれはもうこんなに大きくなったのだ。でも、まだまだ大きくなるぞ。一人前みたいに見えて、まだ子供だなんて、こりやおもしろいじゃないか、と。 (『駱駝』：21)

例(9)の出来事は“遇到识货的人”であり、この“～到”は結果補語であり。杉村(1979: 16~37)によれば、この結果補語は完結的動作・行為を表す。従って、これは「一つの出来事」と言えるだろう。この“能”はこの「一つの出来事」である“遇到识货的人”という結果に至る可能性があることを表し、つまり、変化の結果である“遇到”にいたる可能性があるという判断がこの“能”という語の根底にある。従って、この“能”は変化を起りうるかどうかを判断するものである。文中の“人与车”は“漂亮精神”という前提条件で、“他”には“识货的人”に“遇到”という能力が備わっていることである。よって、この“能”は「一つの出来事」である“遇到识货的人”の前に置くのが適切である。同様に、例(10)の“进去”は趨向補語であるが、これも一つの出来事である。この文は彼の“大低头”という条件の前提で、“进去”という変化ができるという能力も表している。

よって、「能VR」による可能の構文意味とは、話し手がある出来事の実現が可能であるか否かに対する判断を行うというような表現である。

「能VR」による可能は以下のような[図1]で表すことができる。

[図1] 「能VR」による可能の構造：**“能” + (一つの) 出来事**

構文意味：① “能” + (一つの) 出来事

判断を行う

② 結果できるかどうかを判断。

3.2 「V得R」による可能についての可能表現

「V得R」による可能に属する可能表現とは“得”と“不”を用いる「V得R」と「V不R」である。

張威 (1998 : 50) によれば、中国語の可能補語 (V得/不C) の意味的特徴 : ①Cの実現が特に取り上げられて、それが可能であるか不可能であるかというところに表現の焦点が絞られている。②動作の結果が強調され、それが表現の中心である。

(11) 拉到了地点, 祥子的衣裤都拧得出汗来, 哗哗的, 象刚从水盆里捞出来的。

《《骆驼》》: 11)

目的地まで行きついたとき、祥子の身につけたものは汗でぐしょ濡れになっていた。たらいからあげたばかりの洗濯物のようだった。 (『骆驼』: 22)

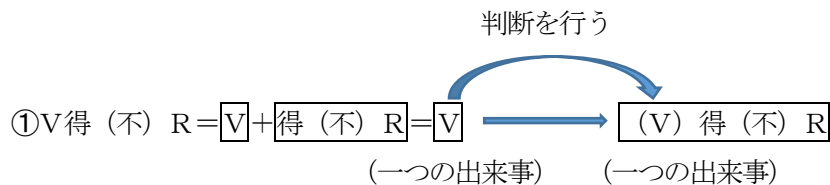
(12) 捏捏厚厚的铺盖, “咳呀—!” 摸摸照得出人影的箱子: “咳呀—!” (《插队》)

厚い布団をつまんでは「おお」、人の姿を写せる箱を撫てては「おお」。『大地』

例 (11) の可能補語は“拧得出汗来”であり、動詞“拧”によって、対象“汗”は“祥子の衣裤”から“出来”することができるという結果に焦点を当てている表現である。杉村 (1979 : 16~37) によれば、可能補語は形容詞に接近していて、非完結的狀態であると述べている。よって、この“拧得出汗来”は“祥子”ができるかどうかということについて、つまり“祥子”の能力については言及していない。“衣裤”の状況を見て、“出汗”という結果になることを表している。その出来事は“拧”という出来事と“(拧) 出汗来”ができるという出来事の二つである。同様に、例 (12) の可能補語は“照得出”であり、動詞“照”によって、“照出”という結果に焦点を当てている表現である。この“箱子”の状況を見て、“照出人影”という結果になれることを表している。その出来事は“照”という出来事と“(照) 出人影”ができるという出来事の二つである。誰かの能力がそれらの出来事に影響を与えているかどうかについては、言及していない。例 (11)、(12) から見ると、可能補語とは、動作主がある動作をした後、ある結果の出現が可能かどうかの判断を行うための表現である。

以上ことから、可能補語は以下のような[図2]で表すことができる。

[図2] 「V得R」による可能」表現の構文的意味



②状態を表す。

この結論は基本的に安本真弓 (2009) の“V得C/D”の構文意味と一致している。

要するに、「能VR」による可能」と「V得R」による可能」の異同は以下の[表2]で表すことができる。

〔表2〕 「“能VR”による可能」と「“V得R”による可能」の異同

	「“能VR”による可能」	「“V得R”による可能」
文法的な意味	話し手がある出来事の実現が可能であるか否かに対する判断を行う。	動作主がある動作をした後、ある結果の出現が可能であることに対する判断を行う。
意味	変化できるかどうか判断	状態を表す
出来事	一つである	二つである

4. “把”構文の可能表現

“把”構文の文構造は「名詞₁+“把”+名詞₂+動詞+その他」である。“把”構文の核「“把”+名詞₂+動詞+その他」を「変化のむすびつき」であり、「変化のむすびつき」はひとまとまり性のある連語であるため、一つの出来事として扱うことができる。

(13) 四元儿却吓得脸发白, 实指望五元儿能把血捂回去。 (《插队》)

四元児は驚いてまっ青になり、五元児がなんとか血を止めてくれればいいとひたすら願うばかりだ。 (『大地』)

(14) 她只须伸出个小指, 就能把他支使的头晕眼花, 不认识了东西南北。(《骆驼》: 10)

あの女は、小指一本でおれをてんてこ舞いさせることができる。(『駱駝』: 149)

例(13)の“把血捂回去”は「変化のむすびつき」であり、例(14)の“把他支使的头晕眼花”も「変化のむすびつき」である。二つの文とも“把”構文の基本義であり、動作によって、“把”の客体を処置するという表現である。また、薛凤生⁷⁾(1997: 4~22)は“把”構文(A把B+VP)の中のVPは動詞を中心としているのではなくて、動詞の後ろの補語こそが本当の動詞であると主張する。よって、“把血捂回去”は“捂”の動作により、“回去”という結果に焦点を当てている。“把血捂回去”は一つの出来事として扱うことができるだろう。つまり、助動詞“能”を“把”構文の“把”の前に用いると、可能の意味を表す。“五元儿”が“把血捂回去”の能力を持っている可能性があるという表現である。同様に、例(14)の“把他支使的头晕眼花”も一つの出来事であろう。よって、それらの前には助動詞“能”を用いて、可能の意味を表している。

(15) 他自己反倒变成了有威严与力气的, 似乎能把她当作个猫似的, 拿到手中。

(《骆驼》: 6)

それどころか、自分のほうが威厳と力をそなえた存在となり、彼女など猫でもつかまえるように、手中にできる気がした。(『駱駝』: 89)

⁷⁾ 薛凤生(1997: 9~10)によれば、“把”構文の動補構造について、以下のように述べている“既然所谓补语才是真正的动词, 而所谓动词只不过是表示手段或途径的动作状语而已。”また、“老李把老张骂得抬不起头来。”のような“把”構文については、“得字之前的动词不可能是VP的核心, 它的核心只能是后面的描述语”と主張している。

例(15)の“把她当作个猫似的”は「変化のむすびつき」であり、これは“把”の客体である“她”の位置を変化させたり、状態を変化させたりしておらず、主体の認識のみが変化することを意味する。これは“把”構文の派生用法の一つであり、小野(1990:93~100)が主張している「他動性」と異なる。“把她当作个猫似的”は(一つの)出来事として扱われている。主体である“他”が彼女のことを“把她当作个猫似的”のように見なしているのである。よって、その前に助動詞“能”を用いて、可能の意味を表している。

(16) 一句话能把她姑娘噎出眼泪……这还不算什么。 (《丹》)

その小娘にベソをかかせる……これなどまだいい方だ。 (『眼』)

(17) 墙倒众人推。一人一口唾沫，能把人淹死。你信不信？ (《盖》)

塀が倒れるのはたくさんの人が押すからだ。一人が一口の唾を吐いても人を溺れさせることができるというのが、ほんとにそうなんだね。 (『棺』)

例(16)の主体である“一句话”はコトであり、“把她姑娘噎出眼泪”は「変化のむすびつき」である。“一句话”は“把”の客体である“小姑娘”を処置することができないため、これは“把”構文の派生用法の一つの使役表現である。小路口ゆみ(2016)によれば、この使役表現は「作用使役」⁸⁾と命名した。この“一句话”は意志をもっていないが、メタファー(隠喩)とメトニミー(換喩)⁹⁾の用法により、“一句话”が“小姑娘”に“噎”というように作用し、“小姑娘”が“出眼泪”というような結果に至った。この“把她姑娘噎出眼泪”は一つの出来事として扱われている。「変化のむすびつき」である“把她姑娘噎出眼泪”の可能表現は、この「変化のむすびつき」の前に助動詞“能”を用いることによって表されている。同様に、例(17)も「変化のむすびつき」である“把人淹死”の可能表現はこの前に助動詞“能”を用いて、表されている。

「変化のむすびつき」である「“把”+名詞₂+動詞+その他」は一つの出来事として扱われている。この焦点は“その他”であり、この動詞は一つ的手段に過ぎない。よって、その可能表現は「“把”+名詞₂+動詞+その他」の前に助動詞“能”を用いる。また、基本用法の“把”構文は話者が意思をもって、「動詞」により、結果に焦点を当てているという表現である。“把”構文の使役表現用法は主体である「コト・モノ」がメタファー(隠喩)とメトニミー(換喩)の用法により、“把”の客体に作用し、「その他」の結果に至るという表現であ

⁸⁾ 小路口ゆみ(2016)によれば、構文構造:「コト・モノ+“把”+名詞₂(ヒトを除く)+動詞+その他」の“把”構文は「作用使役」と名付けた。

⁹⁾ 西村、野矢(2013:130)によれば、①Cancer kills thousands of people every year. (西村、野矢:130) がんは、毎年何千人もの人の命を奪う。(筆者訳) ②The key opens the door. (西村、野矢:134) この鍵でこのドアが開けられる。(筆者訳) 以上の例①、②のような文の主語は“Cancer”、“The key”であり、“Cancer”は“kills thousands of people”の原因である。“The key”は“opens the door”の道具である。二つの文とも無生物主語の使役構文であり、それはメタファー(隠喩)的ということ、道具主語の場合はメトニミー(換喩)的だと主張している。

る。しかし、“把”構文の派生用法である“他把钱包丢了。”と“我把那件事忘了。”というような“把”構文は、その中の動詞“丢”と“忘”は処置義を持っていない。これらの“把”構文の可能表現を表す文は一例も見つからなかった。従って、「変化のむすびつき」の特徴は以下の[表3]のように表すことができる。

[表3]「変化のむすびつき」の特徴

「変化のむすびつき」	出来事	意味
特徴	一つの出来事	変化を表す。

5. おわりに

中国語の可能表現は「助動詞による可能」と「可能補語による可能」に分けられ、「助動詞“能”」による可能表現は(一つの)出来事と条件との関係である。「可能補語」による可能表現は動作を実現して、その結果になれるかどうか客観的に判断を行う表現である。中国語の“把”構文の中では、「変化のむすびつき」である「把」+名詞₂+動詞+その他」はひとまとまり性があるため、一つの出来事として扱われている。この「変化のむすびつき」の特徴は「助動詞“能”による」の可能表現の制限する内容と一致する。よって、“把”構文の可能表現は「助動詞“能”による」可能表現でしか表すことができず、しかも“能”は「変化のむすびつき」の前にしか置くことができない。また、“把”構文における可能表現の“否定”については、今後の課題としたい。

言語資料と略称

『中日対訳コーパス (第一版)』北京日本研究センター2003 「コーパス」

- ・《丹凤眼》 略《丹》 『鳳凰の眼』 略『眼』
- ・《插队的故事》 略《插队》 『遙かなる大地』 略『大地』
- ・《人到中年》 略《中年》 『人、中年に到るや』 略『人』
- ・《金光大道》 略《大道》 『輝ける道』 略『道』
- ・《盖棺》 略《盖》 『棺を蓋いて』 略『棺』

《骆驼祥子》老舍 略《骆驼》 人民文学出版社 1978年11月湖北第6次印刷

『骆驼祥子』立間祥介訳 略『骆驼』 岩波文庫

《家》巴金 略《家》 人民文学出版社 1953年第一版

参考文献

日本語

王学群 (2008) 『見える』と“看得见”について『日本語と中国語の可能表現』、白帝社 27-52

小路口ゆみ (2015) 「中国語の“把”構文における副詞の位置について——副詞“都”を中心に」

『研究会報告』第38号 91-102

———— (2016) 「“把”構文における使役表現について——「作用使役」を中心に」

日中対照言語学会 2016年度春季大会発表

小野秀樹 (1990) 「中国語の可能表現—「他動性」を通じての「能VR」及び「V得R」の考察—」『中国語学』第237号 93-100

———— (1991) 「中国語における可能表現の“否定”—“他動性”を通じての「不能VR」及び「V不R」の考察—」 『中国語学』第238号 11-19

杉村博文 (1979) 「能学好・学得好・能学得好」『日本語と中国語の対照研究』第4号 16-37

杉村博文 (1992) 「可能補語の考え方」 『日本語と中国語の対照研究論文集』、くろしお出版 213-231頁

鈴木康之 (1977) 『日本語文法の基礎』、三省堂

———— (2000) 『日本語学の常識』、海山文化研究所

———— (2011) 『現代日本語の連語論』、日本語文法研究会

高橋弥守彦 (2008) 「可能表現に用いる能願動詞“能”」 『日本語と中国語の可能表現』 白帝社 133-169

———— (2011) 「中国語の受身表現“被字句”と対応する日本語」『日中対照言語学概論』 日本語文法研究会

張 威 (1998) 『結果可能表現の研究』、くろしお出版

西村義樹 野矢茂樹 (2013) 『言語学の教室』、中央公論新社

劉志偉 (2012) 「中国語の“把”構文の習得について」『歴史文化社会論講座紀要』京都大学大学院 23-33

安本真弓 (2009) 『現代中国語における可能表現の意味分析—可能補語を中心に』、白帝社

中国語

李锦姬 (1996) <两种可能式的语用分析> 《南京师范大学报(社会科学版)》 第3期

刘月华 (1980) <可能补语用法研究> 《中国语文》第4期 246-257

吕叔湘 主编 (2010) 《现代汉语八百词(增订本)》、商务印书馆

沈家煊 2009 <如何处置“处置式”? ----论把字句的主观性> 《认知与汉语语法研究》商务印书馆 132-157

薛凤生 (1987) <试论“把”字句的语义特性> 《语言教学与研究》4-22

中国社会科学院语言研究所词典编辑室编 (2012) 《现代汉语词典(第6版)》、商务印书馆